

# 緑が丘

—「自分でめぐる」「みんなと決める」—  
～今日も「学校が楽しかった」～



令和7年 9月 1日発行 三木市立緑が丘小学校

## 「なりたい自分」に向けて ～まず、やってみよう～

酷暑という言葉がぴったりの44日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの声もどってきました。大きな事故、怪我等の連絡もなく無事に2学期を迎えられたことを本当に嬉しく思います。

さて、1学期の終業式に『「なりたい自分」に向けてチャレンジする夏』をテーマに話をしました。過ぎてしまえば、あっという間の44日。どうだったでしょうか。その時、私の頑張ることも3つ、話をしました。結果はというと、1つは目標以上、1つはそこそこ目標前後、1つは駄目でした。(内容については、お子さまにおたずねください。)簡単にいうと好きなことは頑張れました。一方、「ちょっと面倒くさいなあ」「昨日もできなかつたから、もういいかあ」と思いかけたものは駄目でした。大人も子どもも同じです。まずは、自分のできそうなこと、好きなことからスタートし、必要なことに目を向け、ちょっと難しいことに手をつける。そこに応援してくれる人がいて環境がある。これが続けられるポイントです。右に掲載している2つの詩「ぼくだって、きっとあしたになれば」という思いや自分らしさ「これがぼくだ」を大切に、「失敗してもいい」「やり直せる」と思える…そんな2学期にと願っています。

**まずは、やってみよう！！トライあるのみです。**

## 「安全・安心」に向けて……………

9月1日は防災の日。8月28日に地域の方のご協力を得て、リアル避難所運営訓練を行いました。内容を知っているのは校長と担当者、コーディネーターの方のみで実施。(昨年度のリアル不審者対応訓練、防災フェスティバルともつながっています。)  
「鍵は?」「パーテーションやベッドはどこ?」「どうスペースをつくる?」「避難の方が来られた。どこに?…。」「ペットもきたよ。」「電話の差込口は?」等々。命を守る行動に「マッタ」はききません。知っているか否かで命運を分けることもあります。みんなで知恵と力とチーム力を出し切りました。

一方で、他県において教師の立場を悪用した盗撮、SNS上の共有、逮捕といった、決してあってはならない案件がありました。この事案を踏まえ、本校でも校内研修をおこなうとともに、安全点検時の項目追加、点検チェック者の交代制等、協議、確認いたしました。安全、安心は学校の大きな責務です。子どもたちにとっても教職員にとっても安心して生活できる場であり続けるよう努めてまいります。  
(校長 佐野順子)

ぼくは ぼく  
からすえいぞう

ときどき ぼくは  
ほんのすこし  
いろつきの はねが  
ほしいな と  
おもったりする  
ほんのすこし  
いいこえで  
うたえたらな と  
おもったりもする  
でも  
これが ぼくだ と  
とんでいく



へんしんのゆめ  
けむし じんべえ

あしたになれば  
ぼくだって  
あしたになれば  
ぼくだって  
うん きっと  
あしたになれば  
ぼくだって!



くどうなおこ「のはらうた」



リアル避難所運営訓練